

2015年度(第15回)北海道アマチュアゴルフ選手権ハンディキャップ競技

開催日：2015年10月4日(日)

開催コース：北海道ゴルフ倶楽部(ライオン・イーグル)

ローカルルール

- アウトオブバウンズは白杭の内側の地表レベルの点で定める。(定義 40)
- ラインのアウトオブバウンズの標示は白杭に黒テープを巻き標示する。
- イーグルコースNo.10 ホールにおいてアウトオブバウンズの標識(白杭に黒テープ)を越えていった球は、球がその向こう側のコースに止まっている場合でも、アウトオブバウンズの球とする。
- 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。
 - 張り芝の継ぎ目;規則付 I (B)4e を適用する
スルーザグリーンの張り芝の継ぎ目(その芝自体を除く)は**修理地**とみなされる。しかしながら、継ぎ目がプレーヤーのスタンスの障害となっても、それ自体は規則 25-1 に基づく障害とはみなされない。球がその継ぎ目の中にあるか触れている場合、またはその継ぎ目が意図するスイング区域の障害となる場合、規則 25-1 に基づいて救済を受けることができる。張り芝の区域内のすべての継ぎ目は同じ継ぎ目とみなされる。(ゴルフ規則 163 ページ参照)
 - パッティンググリーン奥行きを標示するためのペイントマークは**修理地**とみなされる。しかしながら、ペイントマークがプレーヤーのスタンスの障害となっても、それ自体は規則 25-1 に基づく障害とはみなされない。球がそのペイントマークの中にあるか触れている場合、またはそのペイントマークが意図するスイング区域の障害となる場合、規則 25-1 に基づいて救済を受けることができる。
- 次のものは動かさない障害物とする
 - 排水溝
 - 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - 動かさない障害物に接している他の動かさない障害物は一体の障害物とみなす。
 - 動かさない障害物に接し白線で繋がれた区域は、修理地ではなく、その障害物の一部とみなす。
 - 障害物によって囲まれた部分はその障害物の一部である。
- 次のものはコースと不可分の部分とする
 - 川・池縁保護のための擬木・石。
- パッティンググリーン上の芝張り替え跡は古いホールの埋め跡と同じステータスを持ち、規則 16-1c に基づき修理することができる。

注意事項

- 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、倶楽部ハウス内並びにスターティングホールのティーインググラウンド付近に掲示して告示する。
- パッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
- プレーの進行に留意し、先行組みとの間隔を空けないよう注意すること。プレーの不当な遅延についてはゴルフ規則 6-7 を適用する。(ゴルフ規則 68p 参照)
- 競技当日のスタート前の練習は指定練習場で行い、打放し練習場においては備付の球を使用し、スタート前の練習は1人100円硬貨2枚(40球)を限度とする。
- 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
- 落下地点の安全確認およびプレーの促進のためフォアキャディを配置し、旗を掲げて指示する。
 - 赤旗：落下地点に前の組がいるので、プレーしてはいけない。(必ず指示に従うこと)
 - 白旗：落下地点があいているので、プレーできる。
 - 青旗：アウトオブバウンズまたは紛失の恐れがある。(暫定球のプレーを勧める)

2015年度(第15回)北海道アマチュアゴルフ選手権ハンディキャップ競技

競 技 の 条 件

1. 参加資格

競技者は競技規定に定められた資格要件を満たさなければならない。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

競技者が持ち運ぶドライバーはR&A発行の最新の適合ドライバーヘッドリスト上に掲載されているクラブヘッドを持つものでなければならない。

この条件に違反するクラブでストロークを行ったことに対する罰は競技失格。(ゴルフ規則 174p 参照)

4. 使用球の規格

競技者の使用球はR&A発行の最新の公認球リストに掲載されているものでなければならない。

この条件の違反の罰は、競技失格。

5. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則 6-8b、c、d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は**競技失格**となる。

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断：短いサイレンを繰り返して通報する。または、サイレンを使用せず本部より競技委員を通じて競技者に連絡する。

険悪な気象状況による即時中断：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。

6. ホールとホールの間での練習禁止

ホールとホールの間では、競技者は最後にプレーしたホールのパッティンググリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならないし、球を転がすことによって最後にプレーしたホールのパッティンググリーン面をテストしてはならない。

この条件の違反の罰は、次のホールに2打。正規のラウンドの最終ホールで違反があった場合はそのホールに対して罰を受ける。

7. キャディー

【男子A・Bクラス(ライオンコース)】

正規のラウンド中、プレーヤーはキャディーの使用を禁止する。

この条件の違反の罰は『ゴルフ規則付I(C)2』を適用する。(ゴルフ規則 177p 参照)

【女子A・Bクラス(イーグルコース)】

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『ゴルフ規則付I(C)2』を適用する。(ゴルフ規則 177p 参照)

8. スコアカードの提出

本競技においては提出ボックス方式を採用する。(2014-2015 ゴルフ規則裁定集 115p 6-6c/1 参照)

9. 競技終了時点

本選手権競技は、競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

競技委員長 長島 民夫